

学校が大好き。 だって、みんながいるから。

問い合わせ 教育総務課(☎85516436)
学校教育課(☎8516442)

市教育大綱の基本理念である「みんなで育み、みんなが輝く」。この実現のために、市では子どもや保護者、教職員、さらに地域の人と一体となつてさまざまな施策・事業を進めています。今回の特集では、学校設備・教育・登校支援の視点から、時代に沿った市の小中学校の取り組みを紹介します。



快適な学校環境を目指して

〈教育総務課〉

学校教育の充実を図るため、良質で快適な環境を提供する取り組みを進めています。

学校施設の暑さ対策



近年の記録的な猛暑の対策として、児童・生徒の快適な教育環境の整備を進めています。すでに整備した小中学校の体育館スポットクーラー、普通教室などの空調機の設置に加え、今年度は中学校の体育館の換気設備の整備や、理科室などの特別教室に空調機の設置を行います。

一人一台タブレット端末の整備

国のGIGAスクール構想の実現に向けて、学校の生活や学習において、ICTをより効果的に活用できるよう一人一台のタブレット端末や校内通信ネットワークの整備などを進めています。今後、タブレット端末を教育活動の全ての場面で有効に活用できるように、研修などを通じて教員のICT活用指導力を向上させ、個別最適化された学びや創造性を育む学びを実現していきます。



GIGAスクール構想とは

全国の学校で教育を受ける児童・生徒に、一人一台の学習者用端末や高速大容量の通信ネットワーク環境などを整備する計画

将来を見据えた教育を目指して

〈学校教育課〉

理解の質を高めましょう!



小学校では令和2年度、中学校では3年度より新学習指導要領が始まります。知識の理解の質を高めることを目的とした「主体的・対話的で深い学び」を目指しています。今年度より開始した市内小学校で行っている教育を紹介します。

1 プログラミング教育

小学校でのプログラミング教育が始まり、小・中・高を通じてプログラミングを学ぶことになりました。特に小学校では、

- ①「プログラミング的思考」を育むこと
- ②プログラムの働きや良さに気づくこと

もに、コンピュータなどを活用してより良い社会を築いていこうとする姿勢を育むこと

- ③各教科で学んだことをより確かなものとする

が狙いとなっています。プログラミングを通して、「もっと活用したい」「もっと工夫したい」という意欲を育んでいきます。



2 教科担当制

市内小学校の一部で、「一部教科担当制」を試行しています。高学年において、担任以外の教員が一部の教科を専門的に指導する「教科担当制」を導入す

ることになり、これまで以上に授業の質を向上させることができると考えています。また、中学校に進学した時の「教科担任制」への不安も緩和されるのではないかと期待しています。



3 外国語教育

小学校3・4年生で週1時間の「外国語活動」、5・6年生で週2時間の教科「外国語」が本格的に開始。3・4年生から「聞くこと」「話すこと」を通して英語

に慣れ親しみ、5・6年生では新たに「読むこと」「書くこと」が加わります。中学校での英語学習につながるよう、コミュニケーションを図る土台となる資質・能力の育成を目指します。



安心して通える学校を目指して

〈学校教育課〉

のびのび成長できる
環境をつくります!



不登校児童・生徒への支援の充実やいじめなどの早期発見・解決に向け、学校組織の体制強化を進め、学校・家庭と連携しながら子どもたちの健全な成長を目指し、さまざまな支援を行っています。

INTERVIEW

登校支援の先生に 聞きました!



同じ目線に立って

市教育委員会 教育研究所

「学校に通う」ということは、長い人生の一つの通過点です。登校支援の役割は、子どもたちが自分を見つめ、生活に欠かすことのできない心のエネルギーを充電できるようにすることだと考えています。そのため私たち、子どもたちに寄り添いながら、一緒に考えることを

心掛けています。子どもたちはみんな、一歩前に踏み出したいと思っています。安心できる場所を求め、共感し、認めてもらえる人を探しています。先生、家族、地域の人など周りの大人が、子どもたちと同じ目線に立って、踏み出す一歩を温かく見守ってほしいと思います。

いじめ匿名連絡サイト 「スクールサイン」

6月より、市内中学校の生徒と保護者を対象に「スクールサイン」を導入しました。悩みや被害に関する情報を匿名で携帯電話やパソコンから学校へ連絡できます。いじめの早期発見・解決につながるとともに、SNSやネット上の発言に対する注意喚起や情報モラルの向上にも役立っています。



登校支援室

今年度より、市内中学校3校に「登校支援室」を設置しました。「登校支援室」では、何らかの理由で教室に入れない子どもたちの社会的自立および集団への適応を目的としています。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう支援しています。

ひまわり相談

発達にさまざまな子どもたちの学校生活や学習についての改善を図ることを目的として、市内小中学校に在籍する児童・生徒の保護者からの相談に応じられています。教育研究所での月3回の「ひまわり相談」に加え、今年度から、藤山台中学校のカウンセリಂಗールームにて、月に1回の相談を行っています。申し込みは、各学校で受け付けています。

地域連携を目指して

子どもたちが安心かつさまざまな価値観を持った人と触れ合う機会を設けるため、多くの学校でPTAやボランティアを中心に地域との連携活動を行っています。藤山台小学校では平成28年度より「地域連携室」が設置され、広く市民から募集した地域コーディネーターを中心に、子どもたちへの支援の方法を検討しています。

INTERVIEW

「地域連携室」の皆さんに聞きました！

藤山台中学校区学校地域連携協議会

どのような活動をしていますか

元教師やボランティア団体に属している地域の人を講師に招き、理科実験やかけっこ教室を開講しています。また、登下校時の見守り・あいさつ運動の他、新型コロナウイルス感染症対策として除菌作業を行い、子どもたちの安全確保やコミュニケーションを図っており、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動をしています。

設置されて地域にどのような変化がありましたか

藤山台、藤山台東、西藤山台各小学校の統合を契機に、地域連携室ができたことにより、地域の人の意識が学校に向くようになりました。

学校に対するさまざまな支援を通して、人と人とのつながりが強くなり、今では地域の運動会や世代間交流のイベントが行われるなどさまざまなコミュニティが広がっているのを感じています。

皆さんの目標を教えてください

学校や保護者の人にはもっと私たちの活動を知ってもらい、気軽に参加していただけたらと思います。子どもたちのために学校と地域が連携して活動する共助の力が安心して暮らせる住みよいまちに育つ原動力となり、それが次の世代につながっていくことが私たちの願いです。



家庭・地域・学校の繋がり

今後も市は、家庭・地域・学校が一体となり、健やかな成長を育む環境づくりを行い、市教育大綱の「基本的な方向性」に基づいた施策を進めていきます。

基本的な方向性

1 子どもの健やかな成長を育みます

2 子どもの安全安心な教育環境を整えます

3 家庭、地域、学校、行政等の連携を進めます

4 地域の交流・学習活動の活性化を促進します

5 文化やスポーツに親しむ環境を整えます

